

18. 第 13 回高木レクチャーについて

第 13 回高木レクチャー (2013 年 11 月, 京都) の予定をお知らせいたします。

高木貞治先生の名を冠した講演会「高木レクチャー」は, 世界から卓越した数学者を日本に招聘し, 専門分野を越えた数学者や若手研究者・大学院生を主な対象とし, 創造のインスピレーションを引き起こすような気概に満ちた研究総説講演を行っていただき, 日本発の新たな数学の創造に寄与することを目的としています。高木レクチャーをもとにした研究総説は, 査読を経て **Japanese Journal of Mathematics (JJM)** に掲載されることになっています。

この趣旨に基づき「高木レクチャー」の創設が 2006 年 3 月 26 日 (日), 中央大学で開かれた日本数学会評議員会で承認され, 2006 年 11 月に第 1 回高木レクチャーが京都大学数理解析研究所で開催されて以来, これまでに 12 回の高木レクチャーが開催されています。

○ 第 13 回高木レクチャー (予定)

日 時 : 2013 年 11 月 16 日 (土) - 17 日 (日)
16 日 14 時 ~ 受付, 15 時開始
17 日 10 時開始, 12 時 30 分終了
(12 時 40 分 ~ ワインパーティ)

場 所 : 京都大学数理解析研究所

講演者 :

(予定していた講演者の D. Kazhdan 氏は事故のため来日できなくなりました。)

• Hee Oh (Yale Univ.)

「Apollonian Circle Packings: Dynamics and Number Theory (アポロニウスの球充填: 力学系と整数論)」

• Gang Tian (Princeton Univ., BICMR)

「Kähler-Einstein Metrics on Fano Manifolds (ケーラー・アインシュタイン計量とファノ多様体)」

組織委員 : 小野薫, 河東泰之, 小林俊行,
齋藤毅, 中島啓

主 催 : 日本数学会

京都大学数理解析研究所

協 力 : Japanese Journal of Mathematics

高木レクチャーの HP

<http://www.ms.u-tokyo.ac.jp/~toshi/>

takagi_jp/

で最新情報を掲載いたします。プログラムに変更がありますので, ご確認ください。

JJM は, 2006 年に 3rd Series として新しい創造を引き起こすような「研究総説論文」を掲載するジャーナルとして生まれ変わりました。広く皆さまからのご投稿をお待ちしています。なお, 数学会会員は JJM の個別のバックナンバーを会員割引価格 7500 円 (+税 375 円) で日本数学会事務局より購入することも可能です。

(小林俊行 記)